

## 2022 年度講習会（仮案 1）

### (1) 国内講習会案

(ア) 2022 年 2 月～4 月ごろを目途に、オンラインでの iRIC 講習会（ソルバー限定）を行い、オンライン講習の試みを行う。（久加コメント：試みなので、iRIC-UC 参加者・企業の中から希望者を募り、忌憚のない意見を貰うのが良いか？）

(イ) 2022 年 5 月～8 月ごろを目途に、一般向けの iRIC 講習会を行う。（久加コメント：会場＋オンラインでのハイブリッド開催の場合、準備者に負担がかかる可能性が高いため、オンライン開催が良いのではないかと考えているがどうか？会場開催の場合、ホストとして群馬大学の清水先生にお願いできると考えられる（次期候補地）が、コロナの状況で会場手配が上手くできるか、全国から参加者を群馬に集めてよいのか？など、懸念事項が出てくる。）

### (2) 国内向け講習会を再開するにあたって決める項目（まずは講習会アについて決める）

- ・ オンライン中心で準備 or オンライン＋会場のハイブリッド or 会場（群馬大の清水先生）
- ・ iRIC 研究会で実施決定 ⇒ iRIC-UC へ引き継ぎにあたって、決める項目（また、どこまで研究会で決めるのか）
  1. 日程調整
  2. ソルバー：候補（Nays2DH, Morpho2D, Nays2DFlood）
  3. 講師
  4. 方法（Zoom など）、受講可能人数
  5. 参加価格（清算するもの：テキスト代・会場費なし、講師旅費不要、講師謝金）
  6. 会場の場合は会場手配や現地先生との交渉など
- ・ オンライン講習会のビデオ等の資料は、その後、有効活用するかどうか。Web 上にて無料・有料含めて公開するの否か。オンライン教材の充実は価値があると思われるが、作業にかかる負担もある。